荒井山町内会が提案する　わが街を楽しむウォーキングマップ

# コース No. S 彫刻の街とジャンプのルーツをたずねるコース〈宮の森地区〉

約3.6km
約6,000歩
約45分

歴史の散歩道

## 大野精七博士顕彰碑

手稲山に日本で初めてのパラダイスヒュッテを造った人物が、大野精七博士です。北大の教授に招かれて来札してからスキーを始め、スキーを広めるために尽力しました。大倉山ジャンプ台の建設や戦争のために幻となってしまった冬季札幌オリンピック（1940年予定でした）誘致にも関わりました。その功績をたたえて、1972年の冬季札幌オリンピックのラージヒルの会場となった大倉山に昭和57年（1982年）碑が建立されました。

## 荒井山スキー場記念碑

北海道第一号のスキーリフトが荒井山に登場したのが、1952年（昭和27年）。大竹敬太郎氏によって設置されました。スキーは明治後期に伝わり、昭和初期には冬のスポーツとして定着し始めています。荒井山スキー場は、緩急の傾斜がほどよいことから多くの市民に親しまれていきました。また、1929年（昭和4年）には、ノルウェーのヘルセット中尉の指導を受けて40m級のジャンプ場が建設され「荒井山記念シャンツェ」が誕生。その後も何度か改修を重ね、いまも若手ジャンパーの練習のために利用されています。札幌のスキーを語る上では、欠かせない歴史をもつ荒井山を後世に伝えようと、2005年に「荒井山スキー場記念碑」が建立されました。





道路にある彫刻にも注目！本郷新の彫刻もあります。





大倉山ジャンプ台
ジャンプ台から見る札幌の街並みは絶景！









美しい庭のある家が多い。

要チェック
コースには坂道や階段もあります。ゆっくり歩きましょう。



トイレ　プラタナス、ハルニレなど

札幌を眺望！冬季オリンピックへ思いをはせるコースです。

